

保護者の皆様・地域の皆様へ

9月を迎えました。2学期は、感染症拡大防止と児童の学びの保障を両立させるために緊急事態宣言中は「ハイブリッド授業」を行うことになりました。

通常授業とオンライン授業を同時に行い、ご家庭ごとに選択していただくという方式は学校にとっても家庭にとっても初めての経験となります。



「オンライン授業」という言葉を聞いてどんな様子を思い浮かべるでしょう。ウェブ会議用ソフト（Zoom や Teams）を使って、家庭にいても授業が受けられるというのは共通のイメージでしょう。しかし、家で学習している子どもを学校側でも見られるのか、音声クリアで意見のやり取りができるのか、学習用のソフトを使って家からでも課題を提出できるのかなど、具体的にどんなことが出来るのかというイメージは、一人一人のこれまでのウェブ体験によって異なります。

本校を含め、さいたま市のほとんどの小学校では、初めてオンライン授業に取り組んでいます。加えて、通常授業も同時に行っていますから、各クラスの教員は目の前の児童と画面の向こうの児童の両方を意識しながら授業を進めていくこととなります。さらに、全市・全校が一斉にアクセスしたためか、月曜・火曜と通信状態が良くないという不具合も生じ、多くのお問い合わせの電話もいただきました。教頭をはじめとする、担任以外の教職員で対応に当たっています。

このような状況ですので、「ハイブリッド授業」に寄せる家庭の期待に応えることが出来ていないのではないかという不安を抱えながらの毎日です。

そんな私たちを励まし勇気づけてくださるのは、保護者の皆さんの言葉です。回線がうまくつながらないというお問い合わせの電話でも、

「先生方も大変ですね。本当にありがとうございます」

「家でも勉強できる機会を作ってくださいって嬉しいです」

などの、労いや感謝の言葉をいただくことが多く、本当に感謝しています。

また、担任の対応が良かったのでお子さんが安心して参加できたということも、メールでお知らせくださった方もいらっしゃいました。

教育は、学校と家庭との信頼関係の上に成り立つと言われますが、「ハイブリッド授業」という未知の体験によって、改めてこの言葉を噛みしめています。これからも順風満帆とはいかないでしょうが、皆さんと情報を共有しアイデアを出し合って「二人三脚」で児童の学びを前に進めていきたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

9月1日 校長 三村 悟